

兵庫県太子町



くつろぎの空間のある住民窓口

太子町の新庁舎は、美術館を連想させる。「和」を基調とし、随所に町民の作品が展示され、子どもたちが勉強や創作活動に訪れる。そして、その施設の一部に町職員の事務作業スペースがある。実現の背景には、1級建築士の部長・課長2名が理想を追求し、妥協することなく取り組んだことが大きい。わが町の新庁舎建設に大いに参考になった。

美術館を連想させる庁舎
～新庁舎について～

大震災を教訓に、地域コミュニティの施策を展開

～地域コミュニティについて～

町内会の加入率減少対策として、専従職員6名を配置し、施策を展開していた。全国シンポジウムの開催や町内会加入促進のチラシ作成や利用しやすい補助金制度など随所に市の取組みへの必死さが伺える。これは、市の南部が阪神淡路大震災で被災した経験を有し、地域のコミュニティの重要性を認識しているからと推察できる。



大阪府豊中市

岡山県岡山市



市はIT時代の到来を予見し、自治会・町内会でのHP作成を目指した。市は、講習会を開催し、HP管理者の育成から始めた。現在では、多くの町内会でHPが作成され、防犯情報や学級閉鎖などの緊急時の連絡がどこでも確認でき、利用が増したとの事例が報告された。わが町も、自治会・町内会からHP作成を望む声が上がった場合、速やかに応えるよう町に提言した。

町内会のHPづくりの利便性が向上
～電子町内会について～

委員会視察報告

総務産業建設委員会管外調査視察報告

11月14日～16日

- ◎委員長 森 巨
- ◎副委員長 小川 龍美
- 古宮 郁夫
- 高水 永雄(議長)
- 近藤 石川 修浩
- 小川 隆夫
- 山崎 栄

原 隆夫 議員 (公明党)

『学び合い』で学力アップ

教育長 指導技術の更なる向上が求められる



3月24日に行われた小学校の卒業式

質問 町は、さまざまな学力向上のための施策を行っている。しかし、目に見えない成果は上がっていないと思われ。現在、決められた班や教室全体で見学・生徒が教え合う『学び合い』を教育の柱とする学校が増えて

いる。実践校では、学力向上のみならず、協調性が養われ、学校も落ち着き、不登校も減少するなど成果を出している。我が町も、小・中学校において『学び合い』を導入すべきと考えるが教育長の所見を伺う。
教育長 子供たちの思考力・判断力・表現力を育む授業づくりを考えるうえで『学び合い』の充実が不可欠だが、実践校では、学力向上のみならず、協調性が養われ、学校も落ち着き、不登校も減少するなど成果を出している。我が町も、小・中学校において『学び合い』を導入すべきと考えるが教育長の所見を伺う。
教育長 子供たちの思考力・判断力・表現力を育む授業づくりを考えるうえで『学び合い』の充実が不可欠だが、実践校では、学力向上のみならず、協調性が養われ、学校も落ち着き、不登校も減少するなど成果を出している。我が町も、小・中学校において『学び合い』をとり入れ、指導技術の更なる向上が求められる。そこで、瑞穂町公立学校教育研究会や校内研究推進事業において、講師を招いて『学び合い』を充実させる視点からの授業研究も継続して行っていく。

質問 東京都は29年度予算案を1月下旬に発表した。予算案のなかでは瑞穂町を含む三多摩地域の振興を始めとして、過去最多となる新規382事業、施策の再構築574事業が盛り込まれ、かつてないほどのメリハリが付いたことが明らかとなった。町としても、都知事の三多摩重視の姿勢を踏まえ連携を強化し、直接ヒアリングや意見交換の機会等を活用し、町民の期待に応える生活者目線・働く者の立場に立った施策展開を求める。
町長 2月14日に小池知事と会い、横田基地の存在が土地利用を制限し、交通網の利便性を阻害するなど、地域経営に悪影響を及ぼし



2月14日に行われた都知事とのヒアリング

ている状況を説明した。また、多摩都市モノレールの箱根ヶ崎延伸を強く要望した。町では、都の主要施策である子育て支援交付金や都市農業活性化支援事業など、都の補助事業を活用した事業を29年度予算に計上している。今後とも都と連携を保ち、長期総合計画で示す各分野の施策を展開していく。
こんな質問もありました
フィルムコミッション事業の推進を
町長 東京ロケションボックスに「けやき館」など4力所を登録。今後も推進していく。
骨髄ドナー登録の推進と支援策の検討を
町長 国の方針を注視し、現在実施している啓発活動を継続する。



齋藤 成宏 議員 (民進党)

都との連携強化で、町民の期待に応える生活者目線の施策展開を

町長 都の補助事業を活用し29年度予算に計上